

せるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『みんなの日本語 初級2』

受講者数：5名

【日本語3-a (読解・文法)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：長めの文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：新聞記事、日本語能力試験問題集

受講者数：6名

【日本語3-b (聴解・語彙)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『中級へ行こう』

受講者数：7名

【日本語3-c (作文・話し方)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：書き言葉の特徴を学ぶ、テーマに沿って作文し、作文をもとに発表する。

使用テキスト：『留学生のためのここが大切文章表現のルール』

受講者数：6名

	月	火	水	木	金
3・4 (10:20-11:50)	日本語1-a	日本語2-a	日本語1-a	日本語1-a	日本語3-a
5・6 (12:45-14:15)	日本語3-c		日本語2-a		日本語2-a
7・8 (14:25-15:55)			日本語3-b		

2013年静岡大学サマースクール

案野 香子

1. 目的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流

を図り、相互理解を深める。

2. 実施期間

2013年6月24日(月)～7月10日(水)

(このうち6月24日(月)から7月10日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月11日(木)以降の自由行動は各大学が企画・運営を行う。)

3. 対象および受入れ人数

(韓国) 朝鮮大学校より3名

(アメリカ) ネブラスカ大学オマハ校より1名

4. レベル

〈初級〉 静岡大学作成日本語力判定テスト (日本語能力試験N3程度相当)

50点程度

〈中級〉 静岡大学作成日本語力判定テスト (日本語能力試験N3程度相当)

80点程度

※上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。

5. 費用

2012年度徴収費用^{1) 2) 3)}

	参加者
授業料 ¹⁾	29,600円
宿舍費	免除
雑費 ²⁾	26,000円
合計	26,000円 / 55,600円 ³⁾

¹⁾ 授業料は短期交流特別学部学生 (ネブラスカ大学オマハ校学生のみ)

²⁾ 雑費にはホームステイ謝金3,000円も含まれる。年度により変動する

³⁾ 旅行者傷害保険は別途本国で加入する。交通費、食費、お土産代などは実費。

6. 宿泊先

- おしか荘 (大学宿泊施設で自炊不可)
大学までバスで10分 (片道180円)、徒歩で25分
- ホームステイ 2泊3日 受入家庭 静岡市近辺の一般日本人家庭

7. 日 程

6/24 (月)	: 静岡到着、ボランティア学生との対面など
6/25 (火)	: 授業開始・開校式・交流会
6/27 (木)	: 校外学習①
6/29 (土)・30 (日)	: 自由行動
7/4 (木)	: 校外学習②
7/5 (金)～7 (日)	: ホームステイ
7/9 (火)	: 筆記試験
7/10 (水)	: スピーチ発表会・修了式
7/11 (木)～	: 自由行動

8. 授業科目およびコマ数

日本語	17コマ (1コマは90分 計1,530分)
日本事情	6コマ
ガイダンス	3コマ (宿舎・生活/授業/ホームステイ)
校外学習①②	2日

9. 単 位

サマースクール日本語授業に80%以上出席し、筆記試験を受け、口頭発表をした受講者に対して、授業への参加度および筆記試験とスピーチ発表の成績により、静岡大学国際交流センターサマースクールプログラム〈日本語Ⅲ〉或いは〈日本語Ⅱ〉として2単位を認定する。なお、この単位は静岡大学卒業単位に含まれない。

10. 成 績

成績評価は「秀」(90～100)、「優」(80～89)、「良」(70～79)、「可」(60～69)、「不可」(～59)とし、「秀」、「優」、「良」、「可」を合格、「不可」を不合格とする。

11. ク ラ ス

2クラス (来日前、国際交流センターから日本語能力判定試験問題を送付、その得点と来日後の聴解・会話力により2クラスに分ける。)

2013年度 サマースクール時間割

	6/24(月)	6/25(火)	6/26(水)	6/27(木)	6/28(金)	6/29(土)	6/30(日)
1・2	静岡到着	ガイダンス	日本語②	校外学習 掛川方面	日本語④	自由行動	自由行動
3・4		日本語①	日本語③		日本語⑤		
5・6		開校式	日本の食生活		農場見学		
7・8		ガイダンス	交流会				

	7/1(月)	7/2(火)	7/3(水)	7/4(木)	7/5(金)	7/6(土)	7/7(日)
1・2	日本語⑥	日本語⑧	日本語⑩	校外学習 富士山方面	日本語⑫	ホームステイ	ホームステイ
3・4	日本語⑦	日本語⑨	日本語⑪		日本語⑬		
5・6	日本の遊び	ホームステイ ガイダンス	浴衣 着付け		茶道		
7・8					ホームステイ		

	7/8(月)	7/9(火)	7/10(水)	7/11(木)	7/12(金)	7/13(土)	7/14(日)
1・2		日本語⑮ 筆記試験		静岡出発 自由行動			
3・4	日本語⑭	日本語⑯	日本語⑰ 発表会				
5・6		日本語⑱	修了式				
7・8			交流会				

日本語授業内容

	クラス I	クラス II
①	会話力チェックとクラス分け	
②	はじめまして（自己紹介）	
③	ユニット2 いただきまーす	ユニット2 いただきまーす
④	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう
⑤	ユニット5 旅行大好き	ユニット5 旅行大好き
⑥	ユニット9 何を食べようかな	ユニット9 何を食べようかな
⑦	ユニット10 日本の生活 高い？安い？	ユニット10 日本の生活 高い？安い？
⑧	ユニット11 みんなのスポーツ	ユニット11 みんなのスポーツ
⑨	ユニット14 ケータイ、持った？	ユニット14 ケータイ、持った？
⑩	ホームステイのために	ホームステイのために
⑪	ユニット20 ごみを減らそう	ユニット20 ごみを減らそう
⑫	ユニット15 結婚いろいろ	ユニット15 結婚いろいろ
⑬	ユニット19 女と男一仕事と役割	ユニット19 女と男一仕事と役割
⑭	まとめ 発表準備	まとめ 発表準備
⑮	筆記試験	
⑯	発表準備	発表準備
⑰	発表準備	
⑱	発表会（スピーチ）	

クラス1・クラス2『日本語おしゃべりのたね』アルク

校外学習

校外学習①（6月27日木曜日）～掛川方面～

おしか荘→掛川城→花鳥園・昼食→駿府匠宿（体験学習）→おしか荘

校外学習②（7月4日木曜日）～富士山方面～

おしか荘→浅間大社→高砂酒造見学→白糸の滝・昼食→富士山新五合目→おしか荘

アンケート集計

日本語のクラス

日本語Ⅰ 2名

日本語Ⅱ 2名

〈授業について〉

Q1 三週間、いろいろな勉強をしました。授業は全体として満足できましたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	2				
日本語Ⅱ	1	1			

Q2 授業（①日本語の授業、②日本事情）について下の数字を使って評価してください。
またその理由やコメントを書いてください。

5 = 非常によかった 4 = よかった 3 = 普通 2 = あまりよくない 1 = 全くよくない

①日本語の授業

a) テキスト

	5	4	3	2	1
日本語 I		2			
日本語 II		2			

b) 先生

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	2				

c) 授業内容

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	2				

d) 教室

	5	4	3	2	1
日本語 I		2			
日本語 II		1	1		

e) 発表会

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	2				

②日本事情

a) 日本の食生活（6月26日）

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1			
日本語 II	1	1			

b) 農場見学（6月28日）

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II			2		

c) 日本の遊び（7月1日）

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	2				

d) 浴衣の着付け (7月3日)

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	2				

e) 茶道 (7月5日)

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	1	1			

〈宿舎について〉

Q1: 今回、おしか荘に泊まりましたが、どうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	1	1			
日本語 II	1	1			

〈ホームステイについて〉

Q1: 二泊三日のホームステイはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2				
日本語 II		2			

〈日本での交流について〉

Q1: 皆さんが日本で生活しているとき、いろいろな人が関係していました。日本での交流はどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2				
日本語 II	2				

〈校外学習について〉

a) よかったところ

富士山 2 掛川城 2 花鳥園 1

b) つまらなかったところ

ない 3 農場見学 1

c) 行ってみたいところ

海辺 日本平 花火祭り

〈今は〉

Q1：日本人の話していることがわかる。

	よく	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語 I		1	1		
日本語 II	1	1			

Q2：話したいことを、日本語で話すことができる

	全部	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語 I		1		1	
日本語 II	1	1			

〈その他 全体の感想〉

Q1：この3週間の静岡大学サマースクールはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2				
日本語 II	2				

【総 評】

今回は、日本語の授業のコマ、つまり最終発表会前の準備時間を1コマ増やした。例年、資料やスピーチの準備不足が問題になっていたが、今年は、それも解消され、サマースクールの総まとめにふさわしい、大変充実した発表会となった。近年の日韓関係の影響を受けてか、韓国からの参加者が少なかったが、参加した学生からは、アンケートからもわかるように、プログラム全体が好評で、また例年組織される静岡大学サマースクールボランティア学生との交流もうまくいき、短い期間であったが、満足したとの声をもらっている。帰国後も、フェイスブックなどを通して、コーディネーターやボランティア学生とのつながりが続いていることは特記すべきことであろう。

全学教育科目

原沢 伊都夫

平成24年度後期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅲ・Ⅳ、2年生向けに日本語Ⅵが開講され、浜松キャンパスでは日本事情が1・2年生合同クラスで開講された。25年度より、新しいカリキュラムが始まり、日本事情への日本人学生の履修が可能になった。日本人は学際科目に読み替えられるため、2年生の学際科目と一緒に枠に開講されるが、浜松では1年生のときに日本人と知り合うきっかけにしたいということで、1年次の開講となっている。25年度前期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅰ・Ⅱ、2年生向けに日本語Ⅴが、浜松キャンパスで1年生向けに日本事情が開講された。今回のカリキュラムでも、日本語・日本事情科目はすべて選択であり、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては日本語力が基準を超えていると判断された場合以外は原則として受講することとなっている。なお、学生数